

平成26年度 第24回政策推進会議報告

日時 3月12日 13時30分～13時55分
場所 4-1会議室
出席者 18人

1 第2次尼崎市食育推進計画（素案）に係る市民意見公募手続きの結果について

健康福祉局長から資料に基づき報告。（以下、質疑等）

- ・評価項目に「家の人（兄弟姉妹を除く）と普段（月～金曜日）夕食を一緒に食べる人の割合の増加」とあるが、夕食に限定せずに、「1日1食、家族と一緒に食べる割合」にしたほうがよいのではないかという意見に対し、「意見を参考とする」としているが、この意見を受けて評価項目を変えるということか。

今は小・中学生の生活実態調査で把握している「夕食を一緒に食べる人の割合」を評価項目として活用しているが、意見を踏まえ、実際に反映されるのは少し先になるかもしれないが、今後評価項目を変えていく考えだ。

- ・高齢者や男性への講演会を開催してはどうかという意見に対し、現在、保健所、保健センターや公民館等で高齢者や男性の料理教室や講習会を開催していると回答しているが、女性センター・トレピエも含まれるのではないか。

公民館等の「等」に含まれているが、明記するようにする。

（市長）第一次計画では、学校給食における米飯給食の回数の増加が評価項目に入っていたが、第二次計画の評価項目からは無くなっている。これは第1次計画の計画期間で目標値を達成したためか。

そのとおりである。

（市長）一度、目標を達成した評価項目についても、評価項目からは落としてもいいが、再度目標値を下回っていないか継続的にチェックしたほうがよい。米飯給食の回数を増やすことで和食に慣れてもらい、家庭も含めて和食のいいところを取り入れていこうというのが趣旨であるので、その点を意識してやってもらいたい。

また、25ページには、第1次計画の成果と課題をまとめており、食育をPRするための宣伝媒体や機会の増加や、関係部署、団体との連携した取組みの広がりを挙げているが、これは非常に重要である。第2次計画では、第1次計画のスタート時と比べ、アンケートの数値が悪化しているものがあり、アウトプット指標としては一定前へ進んでいるが、アウトカム部分を意識調査すると悪化しているという現状があるので、各局連携を深めて粘り強くやってほしい。

2 その他

- ・健康福祉局長から、食育フォーラムについて説明。
- ・市民協働局長から、ヘルスアップ尼崎戦略事業フォーラムについて説明。
- ・経済環境局長から、ロボカップジャパンオープンボランティアスタッフ募集について説明。
- ・顧問から、ふなきゼミ（船木顧問による職員育成ゼミ）発表会について報告。
- ・市長から、気仙沼市東日本大震災追悼式について報告。

以 上